

令和3年度 社会教育委員 第2回会議

令和3年6月23日（水）

19:00～20:30

島田市役所会議棟C会議室

【出席者】

社会教育委員：田代廣保、萩原淑恵、青山朝美、熊谷紀男、鈴木美香、  
中村吉哉、松本敬人、西田正鋭

教育委員会社会教育課：小林社会教育課長、伊藤課長補佐兼社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：伊藤）

2 議長あいさつ（田代議長）

- ・本日開催された聖火リレーを早目に来て観ることができ、写真も撮った。
- ・第2回会議は、昼間の開催として六合公民館を会場に考えたが、ご都合の悪い方が多く、夜の会合になった。次回は、初倉公民館の子ども食堂の見学も含めた会議を考えている。青山委員にはお世話になるが、よろしく願いたい。
- ・本日は模範説明を聞き、執筆者の思いを伺いたい。今後我々が出向いて説明するためのスキルを養ってほしい。
- ・6月1日保育園等の園長会に、鈴木委員、萩原委員、事務局伊藤さんと説明に出向いた。コロナ対策のためオンライン会議だったので、十分に伝わったか判らないが。次は、校長会にと思っており、まずは校長会長に説明し今後の対応を相談したい。
- ・皆さんの活動母体のなかで、個々に推進してほしい。「子供達を育てるお父さんお母さんに伝えていきたいので、時間をもらえないか」と。私は関係のある初倉小、初倉小にお願いし承諾をいただき、日程も押さえてある。子ども園にもお願いしていきたい。
- ・本日は、鈴木委員、萩原委員の説明をお聞きし、松本委員には次回に願いたい。

3 課長あいさつ（小林課長）

- ・教育長が提言を大変評価している。この6月議会のなかで、家庭教育への支援の一般質問が出ており、提言のことを触れながら答えようと答弁書を作成している。
- ・本日はプレゼンを聞かせていただき、提言の推進についてもぜひ願いたい。活動が過度の負担にならないようお願いし私のあいさつとさせていただく。

#### 4 議題

##### (1) 報告書「家庭教育の在り方」プレゼン模範説明（執筆者の想いの確認）

報告書の今後の広報、周知活動を行っていくにあたり、乳幼児・未就学児編、小学生編のそれぞれの主たる執筆者である、鈴木委員と萩原委員に模範説明をしてもらい、執筆者の思いなどを確認した。

##### ○協議

##### ●乳幼児・未就学児編（鈴木委員）

・模範説明を行った。

##### □質疑・意見

・何分ぐらいで見せて質疑応答をするのか。モデルとしての時間は。

→15分を考えている。

→スライド数44枚だと90分授業の数。学生が判るように話すと5～8分かかる。的を絞ってテーマごとにやらないと無理がある。学生が聞いて理解するのは10分が限度。乳幼児から学生までの子育てのすべての方を対象にするとどうすればいいという感じになる。

→一度にすべての対象のかたを想定しているわけではない。時間の話しは30分必要とは言えない。20分しか貰えないなら、その範囲でやるしかない。

→10分原稿を作るしかないか。原稿用紙1～2枚。

→ずっと話しているのは聞いて貰えないと思う。それをどうするか。

→途中で質問したりするといいかもしれない。

→説明は10分ぐらいにして、質疑応答の時間を取る。

→心配なのは小学校低学年から高学年の保護者がいて、説明者が3～4人いれば低学年と高学年に分かれることができるが1人しかいないと大変かな。

・出産前のお母さんの心のケアのところは、そこだけ取り出して別物として取り上げてもいいかなと思う。出産後のことは、また次の機会にしましょうと簡単に紹介するだけにしているのでは。出産後のお母さん達には、出産前のことはまた読んでみてくださいとしたらどうか。乳幼児のとき、未就学児のとき、その場その場で話す“濃さ”を変えていけばいい。「お母さんあなたならどうします？」と声をかければ面白くなるのでは。説明の数をこなしていかないと見えてこないところもあるのかな。

→説明するかたが自分で説明しやすいよう工夫してやってくれればいい。

→本日の模範説明は録音しているので、パワーポイントにシナリオとして入れることで、他のかたが説明するときに参考にしていただけるかなと思っている。

・気になったのは配布資料とパワーポイントと、コマがずれているところがある。

→報告書の順番で入れたつもりですが確認する。

・説明する人とパワーポイントを操作する人とどこかで動かすタイミングを打合せておかないと合わせるのが難しい。できれば説明する人がパワーポイントを操作するほうがいいのでは。演台のところにパソコンを置けば操作も可能。

→パワーポイントを動かす機器が他課にあるか確認する。

・内容は素晴らしい。パワーポイントは文字が多いと文字を追ってしまい話しが入ってこない。言葉は一言、単語でいい。写真や絵を入れる。コラムを入れるのは止めたほうがいい。

→ゴシックで大きい文字で。一行でいい。

→一番上の文言だけでもいい？

→いいと思う。空いたところにメモしてもらったり、配布資料に書いてあるからと、アンダーラインを引いてもらう。大きい文字や文言を少なくすることによって遠くからもパワーポイントが見やすくなる。

→日本人は生真面目のかたが多いから、配布資料として示されると読んでしまう。手元に資料が配布されるとパワーポイントと同じかなと読んでしまい、講師の話しが耳に入ってこない。配布資料は説明が終わったあとに渡すぐらいがいいのでは。

### ●小学生編（萩原委員）

・模範説明を行った。

#### □質疑・意見

・説明のみで、パワーポイントが要らないぐらい。別途、資料を配布すればいい。実際にやれば、説明する萩原委員を全員みて、聞いているのではないかと思う。

→パワーポイントの中身は相談させてもらいたい。

・鈴木委員の説明も判りやすかった。鈴木委員はパワーポイントを使って行ったほうがいいのか。

→パワーポイントありきで説明した。

・パワーポイントと説明の意思統一がされていないので、行き違いが起きてしまう。パワーポイントを使うなら、パワーポイントの原稿をもらって修正したり、スライドの順番を入れ替えたりして説明しやすいうように加工していけばいいと思う。説明を聞いていて、やはり、話しに集中して聞いた方がいいと感じた。

・報告書の作成協議を行っている段階から、「親育て」の表現を使っているが、聞く側からすると「親育て」というと上から言われているように取られそうなので、「親育ち」がいいのでは。

ただ、子育てを通して、親自体が子供に育てられるのだよということなら、上から言われていると感じないか。

→報告書の中では、親も一緒に成長しましょうと表現しているので、いいのではないか。

・萩原委員の説明の中で、松本委員に声掛けしたところはタイミングも含めて良かった。

・「眼を離さない」の眼は眼でいいか。目の記載もある。

→眼が正しいので訂正する。

・報告書をホームページに挙げてあるので、配布できなくても配布資料にQR

コードを記載することで、興味を持ったかたにQRコードを読み込んでもらい見てもらうことができる。

・パワーポイントをどうするか。無しにするか。

→パワーポイントは執筆者と相談しながら修正をかけ、説明しやすいようにしていくことでよろしいか。

→承諾していただいた。

## (2) 7月9日志太地区研修会 各市活動紹介について

当日の研修として、各市委員より活動紹介を20分程度で依頼があった。内容は、提言書の作成に係る活動内容や今後の広報周知活動について発表していただくことがいいかと思う。内容と発表の仕方などの協議をお願いした。

○決定事項

・発表内容及び発表者

①提言書作成の経過等について（田代議長）

②今後の広報周知活動と説明内容について（鈴木委員）

## 5 その他

○次回（第3回）の開催日及び内容について、事務局より提案し、協議のうえ次のとおり了承を得た。

・開催日：9月25日（土）午前10時30分～午後1時30分（予定）

・会場：初倉公民館

・内容：学習支援（福祉課所管）及び子ども食堂の視察、模範説明（中・高校生編）など

## 6 閉会